道路ユーザーネットワーク広場

NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK NETWORK

☆三好礼子の☆ ナチュラル・ロード

9月に七尾市「ゲストハウスきち」の浅川まゆみさんがやってきた！能登復興Tシャツを着た面々と笑顔の花が咲いたよ♪

三好礼子
エッセイスト・元国際ラリースト
～ http://www.fairytale.jp/ ～

川向こうの高い木の上ではコサギが朝焼けを眺め、遠くには国道254号線の三才山トンネルが走る戸谷峰（1629m）が見えています。標高800mのあの山裾から200mほど降りてきたのは、ちょうど1ヶ月前のことでした。6キロしか離れていないのと、新旧の家で新居建て替えの方たちの荷物仮置きという事情があったので、2ヶ月間に渡ってのじわじわ引っ越しとなりました。10年半住んだ我が家の荷物を自家用車で毎日運んだのですが、その労力たるや半端ではありませんでした。オール電化だった山の旧家は、7部屋と納屋5つ。築155年の古民家の新居は、12部屋と土蔵2つ。まるでジグソーパズルのように、荷物をあっちこっちに移動してはめ込んでいきました。ちなみに庭の広さは10分の1で、庭木の数は3分の1。庭作業で必要だった芝刈り機と個人の除雪機はいらず（日当たりがいいので積もらない）、平地なので脚立も楽々立ちます。水は沢水から松本市の市水となり、勢いよく出ては流れゆく様に感動。人間にとっていかに水が大切かを思う日々です。壮大な北アルプスは望めなくなりましたが、レトロタイルが可愛いお風呂からは、夕焼けに浮かぶ常念岳の姿が♪

ラスト芝刈りに精を出す夫。可愛かってきた庭木と別れるのが辛い。大好きな空間と住まいでしたが、動物がいないと広すぎた（3千坪）。

サップとカヤックは、玄関とかつての萱置き場へ。バイクはガラスのガーデニング小屋を掃除したら置けそう！

新居は横浜から通って庭手入れをしていた大家さんが綺麗にしてくれていたので、掃除に手間取ることはありませんでしたが、古民家暮らしは初めて。どこもかしこも謎と発見の連続で、感心したり唸ったりと好奇心が止まりません。「1階の天井板は、2階のお蚕さまの部屋の床板だった（隙間から2階に敷いたブルーシートが見えます）」「南側のトイレと洗面は、かつて薪炊き風呂釜のあった場所の名残り（洗濯機置き場も外でしたが、今回インドアに）」「部屋を取り囲むように廊下あり（客人に会わずに台所やトイレに行ける）」「季節ごとに替えられる襖や障子やガラス戸あり（冬は0度になるらしく、各部屋に幾つものカーテンレールがあり、忍者屋敷のよう。ちなみに時代を追って6部屋は今風に改造してあるため、そこは床下も安心。最後に住んでいたお母様のためのスロープや手すりは、60代の夫婦にはありがたい！などなど。

右が大家の渡辺哲夫さんと久枝さん。お盆の棚経に同席させていただき、ご先祖様にご挨拶。置いて行かれたエレキギターも哲夫さんのでした♪

半分掃除の終わった土蔵（味噌蔵はこれから）。住んでいた人々の暮らしを一気に遡るのは、旧家と実家で体験するも、本当に興味深い。

住んで1ヶ月ですが、これからの住まいのコンセプトは、風まかせで行こうと思っています。壊れたら直すけれど、できるだけこの味を壊したくないなと思うようになりました。家が呼吸している感じが伝わってきて、なにせ住みやすいのです。一番変わったのは、私が夜型から昼型になったことでした。重労働だったこともありますが、爆睡できて睡眠時間はおそらく倍以上。テレビ回線が面倒な地域でまだ開通していませんが、「このままなくても いいかも」。大家さんが残していった豪華なステレオセットとレコード（！）で、70年代の音楽聴き放題という贅沢。家でそのまま使えるタンスなどの家具の他にもオマケはいっぱいありました。大きな土蔵は丸2日かけてクリーンセンターに8回処分しに行ったのですが、ほとんどが捨てたくないものばかり。秤やスペアの戸板（古のガラスつき）、巨大米櫃（人間が数人入れそう）、先代が先生だったので謄写版（ガリ版）から初代の図画辞典、そして山と農業で使うノコからカマ、手作りの籠や銅板の温水器や各種農具。大家さんは自分では処分できないので、見ずに全部捨ててくださいと言うのですが、処分場で救済したものも多数ありました。すると先日、松本市の学芸員の方に「博物館収蔵出来るかもしれないので、ぜひ見せてください」と言われ、ちょっと安堵。2階の立派な機織り機もそういう所に行ったら幸せに違いありません。バイクもですが、今では絶対に作れない素材や技術、年月かけての風格など、失ったらもう手には入らないものは守らねば…。

たわわと実るナイアガラ。巣が特定できなかったので、ナキナガラ落とすことに。ハチゼロ作戦は一応大成功。

歩いて30秒の景色。会田川のほとりなので、屋号は「川端」。ハザードマップでは、千年に一度の災害でもOKでした。ほっ。

さて、ひと段落した時に勃発したのが、スズメバチ事件。家を借りたら、庭にたわわと実ったナイアガラのブドウ棚がついてきたので大喜びしていたのですが、ある日スズメバチがやってきて、3日後には千匹に！ これからが活動シーズンということもあり、ご近所さんや農家の助言を受け、真夜中に全てのブドウを落としてしまいました。ひとしきり食べたあとだったので未練はないけれど、食べられたブドウがあまりに悲惨だったので、来年は摘果と全ての袋がけを決意。ヤギチーズ農家ではなくなったけれど、ここはガーデニングにぴったりだなあと気づいたので、庭仕事への意欲も俄然湧いてきました。これからの10年20年を見据えて、より楽しく生活できるよう夫婦で頑張ります。エイエイオー！

都市計画の中の街路㊸

アーケード空間の賑わい（その10）

東洋大学国際学部・准教授
志摩憲寿

前回は、東京23区内27商店街の事例からアーケード空間内の設えについて、照明や横断幕（のぼり）、統一看板、バナー、防犯カメラなどをとりあげて、どのような設えがどのくらい設置されているかを調べてみました。最も多かった設えはやはり照明で、全ての商店街に備えられていましたが、これに続いて、バナー（19箇所）、統一看板（17箇所）、横断幕（のぼり）（16箇所）、その他にも時計や商店街のマスコット、七夕飾りなどを商店街全体で備えている例もみられ、事例とした商店街には、平均すると、3・55種類の設えが設置されていることがわかりました。今回はアーケード空間内の統一的な設えに注目して、それぞれの商店が個別に出しているマスコットなどは数えていませんから、この他にも色々な設えがみられることでしょう。

また、このような設えは、アーケード延長が長いからといって必ずしも種類が多いというわけではありませんでしたが、それでは、どのくらいの密度感で商店街の設えは設置されているのでしょうか。この密度感がアーケード空間の賑わいに効いてくるのではないかと思います。まずは設置距離を全体的にみてみると、最も密に設置されているのは、再び照明で4・5mに1基、そして、統一看板も4・6mに1基、バナーは11・0m、そして、横断幕（のぼり）は77・4mという結果になりました。なお、照明はアーケードの屋根部分などに連続的に設置されている商店街も6箇所ありました。ちなみに、それぞれの設えが密度高くみられたところは、照明（連続的な設置を除く）では、サンライズ蒲田（蒲田西口商店街）（1・2mに1基）、浅草観音通り商店街（1・5m）、立石仲見世商店街（1・8m）、統一看板では浅草西参道商店街（2・0m）、中野サンモール商店街（2・4m）で、ほぼ全ての商店街で5mに1基という間隔でした。そして、バナーでは阿佐谷商和会3・6mに1基、サンロード蒲田（蒲田西口商店街）3・8mに1基というように、照明や統一看板の平均的な間隔と同じくらいでみられました。横断幕（のぼり）は、その性格も重なってか、最も短い間隔のところでも浅草ひさご通り商店街（21・2m）、中野サンモール商店街（25・3m）、立石仲見世商店街（34・5m）という結果になりました。ここから考えてみると、アーケード空間の設えを景観的にみると、照明と統一看板を中心に構成されていて、バナーや横断幕（のぼり）、さらには時計やマスコット、七夕などの季節の飾り、それに加えて、商店が個別に出しているマスコットなどなどがアクセントを添えるという構図が読み取れましょう。

デザインを凝らしたアーケード空間の設え（左：浅草観音通り商店街、右：浅草西参道商店街）

また、これも前回にみてきたように個々の設えの個性豊かなデザインなどもまた賑わいを演出していることでしょう。次回以降でアーケード空間内の設え一つ一つに注目してゆきたいと思います。

参考文献　平野早紀（2023）「全蓋式アーケード商店街のにぎわいに関する研究：東京23区内全24アーケード商店街を事例として」、2022年度東洋大学国際地域学科卒業論文

道路交通情報

◇道路緊急ダイヤル　#9910
◇NEXCO東日本　http://www.e-nexco.co.jp/
◇NEXCO中日本　http://www.c-nexco.co.jp/
◇NEXCO西日本　http://www.w-nexco.co.jp/
◇首都高速　http://www.shutoko.jp/
◇阪神高速　http://www.hanshin-exp.co.jp/
◇本四高速　http://www.jb-honshi.co.jp/
◇日本道路交通情報センター　http://www.jartic.or.jp/

道路ニュースの宛名変更・発送停止について

宛名変更につきましては、下記の宛名記載例の「No.0000」または「U-00000」と変更後の住所等をご記入の上、FAXまたはE-mailでご連絡下さい。

発送停止につきましては、「No.0000」または「U-00000」と社名・氏名等をご記入の上、FAXまたはE-mailでご連絡下さい。

【宛名記載例】
〒100-0013
東京都千代田区霞が関3-3-1　尚友会館6F
全国道路利用者会議　様
No.0000　または　**U-00000**　1部

FAX　03-3501-5612
E-mail　the_road_news@road-jhuc.jp